

2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 JDSC
代表者名 代表取締役 加藤 聡志
(コード:4418、東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 平井 良介
(TEL. 03-6773-5348)

連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、以下のとおり、当社の連結子会社であるメールカスタマーセンター株式会社（以下「MCC」といいます。）の全株式を、ラクスル株式会社（以下「ラクスル」といいます。）に譲渡すること（以下「本件株式譲渡」といいます。）を決議し、株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。なお、本件株式譲渡は、2026 年 9 月 28 日に予定されている第 8 期定時株主総会決議で可決承認されることを条件に実行されます。本件株式譲渡に伴い、MCC は当社の連結子会社から除外されることになり、また 2027 年 6 月期において、関係会社株式売却益として特別利益を計上する予定です。

1. 本件株式譲渡の理由

当社グループは、「UPGRADE JAPAN」をミッションとして掲げ、「産業の価値源泉に深く入り込み、その潜在力をデータ・AI・テクノロジーで解き放つ。」というビジョンを実現すべく、現場と知をつなぐ“産業の変革者”として AI エージェントやデータサイエンスを核に日本の基幹産業の変革を進め、最先端の AI 技術を社会に実装することを目指しております。

当社は、2023 年 10 月に MCC を完全子会社化し、マーケティングを活用した事業変革やグループ内でのクロスセルの取り組みを進めてまいりました。その結果、2025 年 4 月の郵便料金の改訂に伴う一時的な取引量の減少による減収の影響はありましたが、既存顧客の平均粗利率約 3%に対して、直近 1 年の新規獲得顧客の平均粗利率は約 8%に改善するなど高付加価値商材の拡大にも注力し、また将来の収益改善につながる事業構造の変革についても一定の成果をあげてまいりました。

当社グループを取り巻く環境としては、各産業における企業の AI 投資が急拡大しているなか、AI エージェント開発を中心とした AX (AI Transformation) や AI が現実世界の動きを認識して最適な行動を起こす「フィジカル AI」といった領域が成長分野として注目されており、当社においても自社の AI ソリューションを活用した DX/AI 導入の支援や新たな AI エージェント開発など最先端 AI 技術の活用・実装支援に関する引き合いが高まっているなかで、今後も見込まれる急速な需要増加に対応していくために、当社グループとして経営資源を適切に配分し、グループの事業ポートフォリオの最適化に向けた検討を続けてまいりました。

その中で、新たな株主候補としてラクスルとの交渉を重ねてきた結果、当社グループとして経済的合理性のある取引であり、且つ MCC としてもラクスルグループのプラットフォームのもとでダイレクトメール配送体制を整備させることが今後の事業価値向上につながると判断したことから、両社の合意に至り株式を譲渡することといたしました。

2. 異動する子会社（メールカスタマーセンター株式会社）の概要

(1)	名 称	メールカスタマーセンター株式会社		
(2)	所 在 地	東京都中央区築地七丁目2番1号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 太田 淳一郎		
(4)	事 業 内 容	ダイレクトメールの発送代行業		
(5)	資 本 金	2億2,380万円		
(6)	設 立 年 月 日	平成11年（1999年）7月2日		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社JDSC（持株比率100%）		
(8)	上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	議決権の100%を保有しております。	
		人 的 関 係	当該会社に役員を派遣しております。	
		取 引 関 係	取引関係はございません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
	純 資 産	802百万円	812百万円	865百万円
	総 資 産	2,738百万円	2,550百万円	2,624百万円
	1株当たり純資産	8,021,317円	8,120,086円	8,650,532円
	売 上 高	14,397百万円	19,873百万円	17,847百万円
	営 業 利 益	179百万円	143百万円	100百万円
	経 常 利 益	179百万円	122百万円	102百万円
	当 期 純 利 益	119百万円	9百万円	53百万円
	1株当たり当期純利益	1,195,079円	98,769円	530,445円
	1株当たり配当金	－円	－円	－円

3. 本件株式譲渡の相手先の概要

(1)	名 称	ラクスル株式会社		
(2)	所 在 地	東京都港区麻布台一丁目3番1号 麻布台ヒルズ 森JPタワー 19階		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 グループCEO 永見 世央		
(4)	事 業 内 容	印刷・集客支援のプラットフォーム「ラクスル」の運営		
(5)	資 本 金	4,736百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2009年9月1日		
(7)	純 資 産	20,206百万円		
(8)	総 資 産	47,591百万円		
(9)	大株主及び持株比率	松本 恭攝 18.35%、MSIP CLIENT SECURITIES 9.88%、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 7.44% 他		
(10)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	A 種類株式 100 株 (議決権の数：100 個) (議決権所有割合：100%)
(2) 譲 渡 株 式 数	A 種類株式 100 株 (議決権の数：100 個)
(3) 譲 渡 価 額	2,700 百万円
(4) 異動後の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0 %)

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026 年 8 月 14 日
(2) 契約締結日	2026 年 8 月 14 日
(3) 株主総会決議日	2026 年 9 月 28 日 (予定)
(4) 株式譲渡実行日※	2026 年 10 月 1 日 (予定)

※ 株式譲渡実行日は、国内外の競争法当局によるクリアランスその他の法令上必要となる関係当局の許認可等の状況により変更される可能性があります。

6. 今後の見通し

本件株式譲渡に伴い、2027 年 6 月期第 2 四半期より、MCC は当社の連結子会社から除外されることとなります。また本件株式譲渡に伴い、2027 年 6 月期の連結決算において関係会社株式売却益約 4.5 億円が特別利益に計上され、個別決算において関係会社株式売却益約 4.1 億円が特別利益に計上される予定です。

当該特別利益の額は概算であり、変動する可能性があります。

なお、当該見通しについては、本日開示している「2026 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2027 年 6 月期の連結業績予想に反映されています。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2026 年 8 月 14 日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (2027 年 6 月期)	百万円 11,000	百万円 950	百万円 950	百万円 1,050
前期連結実績 (2026 年 6 月期)	22,833	640	853	809